



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋

上場取引所 東

コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 CEO (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 管理部担当執行役 CFO (氏名) 藤本 昌信

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	22,756	25.8	11		41		502	
2022年3月期第3四半期	18,094	4.0	1,246		1,239		810	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 498百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 705百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	21.98	
2022年3月期第3四半期	35.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	38,931	8,585	21.4	364.17
2022年3月期	40,173	9,081	22.0	385.55

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 8,329百万円 2022年3月期 8,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,070	29.2	393		509		1,126		49.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	22,910,275 株	2022年3月期	22,910,275 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	36,144 株	2022年3月期	36,144 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	22,874,131 株	2022年3月期3Q	22,754,204 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ワクチン接種の普及や経済活動の制限の緩和により、緩やかに景気は持ち直しの動きとなっております。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や海外景気の下振れ、世界的な物価上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等の影響もあり、先行きは依然不透明な状況となっております。

外食産業におきましても、原材料やエネルギー価格の高騰や人件費の上昇を始めとする様々なコストの上昇、在宅勤務の増加や大人数での会食の自粛傾向といった消費者のライフスタイルの変化等により、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況の中、当社グループは新しいグループビジョン「おもてなしで付加価値の創造を紡ぐ」を掲げ、新しい付加価値を提供する持続可能な企業として取り組んでまいります。そのために引き続き事業構造の再構築を行うとともに、各事業において新たなマーケットの開拓を進めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高227億56百万円（前年同期比46億61百万円増）、営業利益11百万円（前年同期は営業損失12億46百万円）、経常損失41百万円（前年同期は経常損失12億39百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失5億2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益8億10百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(レストラン事業)

レストラン事業においては、新規及びブラッシュアップした既存ブランドの出店の加速による店舗収益力の改善を推進するとともに、店舗の省人化・効率化等の業務改善に取り組んでおります。

その結果、新店はそば部門において「おらが蕎麦」1店舗、アジア部門その他業態においてコリアンキッチン「シジャン」3店舗及びジェラート専門店「solege」2店舗、(株)壺番亭本部において「壺番亭」1店舗、(株)雪村において「めん商人」1店舗及び「雪村餃子無人直売所」6店舗の合計14店舗であり、退店は13店舗であります。この結果、当第3四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、36都道府県に408店舗（フランチャイズ店舗99店舗を含む）となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は145億3百万円（前年同期比28.0%増）、セグメント損失51百万円（前年同期は11億46百万円の損失）となりました。

(機内食事業)

(株)エイエエスケータリングにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う渡航制限の見直しがされたものの未だ航空会社の減便は続いており、ウクライナ情勢も引き続き厳しい状況ではありますが、増収増益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は9億72百万円（前年同期比25.7%増）、セグメント損失2億6百万円（前年同期は2億43百万円の損失）となりました。

(業務用冷凍食品製造事業)

(株)アサヒウェルネスフーズにおいては、季節品のおせち等の製造が増加したことから増収増益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は45億59百万円（前年同期比20.5%増）、セグメント利益4億67百万円（前年同期は4億48百万円の利益）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業においては、大阪木津卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みであり、不動産賃貸事業の売上高は5億18百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント利益2億25百万円（前年同期は2億12百万円の利益）となりました。

(運輸事業)

水間鉄道(株)においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底したうえで沿線地域でのイベントの開催等に取り組むことで旅客数が増加し、増収増益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は2億97百万円（前年同期比9.2%増）、セグメント損失35百万円（前年同期は47百万円の損失）となりました。

(その他)

大阪木津卸売市場で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が増加したことから増収増益となりました。日本食糧卸(株)で展開しております米穀卸売事業は、販売数量が増加したことから増収増益となりました。

以上の結果、その他の売上高は19億5百万円（前年同期比34.8%増）、セグメント損失10百万円（前年同期は65百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は153億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億94百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金28億57百万円及び未収入金8億74百万円の減少、売掛金31億24百万円の増加によるものであります。固定資産は235億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億46百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券1億47百万円及び投資その他の資産のその他に含まれる保険積立金4億5百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、389億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億41百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は87億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億4百万円増加いたしました。これは主に買掛金5億10百万円、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金7億25百万円の増加によるものであります。固定負債は216億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億50百万円減少いたしました。これは主に長期借入金15億32百万円及び長期未払金3億円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、303億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億45百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は85億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億95百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失5億2百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は21.4%（前連結会計年度末は22.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更を行っております。詳細は別途本日開示いたしました「2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,425,796	9,568,013
預け金	430,027	528,409
売掛金	985,085	4,109,872
商品及び製品	484,453	378,240
原材料及び貯蔵品	229,969	308,614
短期貸付金	2,502	70
未収入金	1,167,629	293,262
未収消費税等	17,179	16,620
その他	148,738	195,118
貸倒引当金	△992	△2,148
流動資産合計	15,890,390	15,396,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,232,836	28,306,736
減価償却累計額	△20,800,497	△20,972,597
建物及び構築物(純額)	7,432,339	7,334,139
機械装置及び運搬具	3,109,454	3,293,634
減価償却累計額	△2,271,261	△2,394,036
機械装置及び運搬具(純額)	838,192	899,598
工具、器具及び備品	1,919,322	1,973,728
減価償却累計額	△1,532,997	△1,550,221
工具、器具及び備品(純額)	386,324	423,507
土地	8,198,815	8,210,084
建設仮勘定	89,175	41,774
有形固定資産合計	16,944,847	16,909,105
無形固定資産		
のれん	328,177	279,098
その他	204,450	179,854
無形固定資産合計	532,628	458,953
投資その他の資産		
投資有価証券	1,481,195	1,333,496
長期貸付金	64,762	115,071
差入保証金	4,541,377	4,424,836
繰延税金資産	192,096	192,361
その他	544,252	120,383
貸倒引当金	△18,438	△18,438
投資その他の資産合計	6,805,247	6,167,711
固定資産合計	24,282,723	23,535,769
資産合計	40,173,113	38,931,842

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	748,645	1,259,178
短期借入金	500,000	1,700,000
1年内償還予定の社債	60,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	3,537,444	3,062,847
未払金	421,776	345,378
未払費用	1,114,342	1,207,250
未払法人税等	373,148	175,191
未払消費税等	281,293	356,626
賞与引当金	172,765	87,519
資産除去債務	107,152	104,134
その他	304,388	397,598
流動負債合計	7,620,955	8,725,725
固定負債		
長期借入金	19,388,205	17,855,946
長期未払金	308,056	8,056
繰延税金負債	1,570,603	1,568,005
退職給付に係る負債	121,577	122,185
資産除去債務	1,272,446	1,281,062
その他	810,205	785,110
固定負債合計	23,471,095	21,620,367
負債合計	31,092,050	30,346,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	100,000
資本剰余金	6,796,490	12,534,726
利益剰余金	△3,952,550	△4,455,263
自己株式	△35,381	△35,381
株主資本合計	8,646,795	8,144,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	184,785	182,048
為替換算調整勘定	△11,772	4,249
退職給付に係る調整累計額	△670	△408
その他の包括利益累計額合計	172,342	185,889
非支配株主持分	261,925	255,778
純資産合計	9,081,063	8,585,749
負債純資産合計	40,173,113	38,931,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	18,094,235	22,756,110
売上原価	11,699,543	14,396,870
売上総利益	6,394,691	8,359,239
販売費及び一般管理費	7,641,474	8,348,129
営業利益又は営業損失(△)	△1,246,783	11,110
営業外収益		
受取利息	355	1,944
受取配当金	35,008	22,597
投資有価証券売却益	37,155	-
賃貸料収入	143,811	124,722
その他	62,991	75,561
営業外収益合計	279,323	224,826
営業外費用		
支払利息	120,905	130,648
借入手数料	1,100	1,000
賃貸費用	86,796	77,105
持分法による投資損失	47,746	43,761
その他	15,684	25,318
営業外費用合計	272,232	277,833
経常損失(△)	△1,239,692	△41,896
特別利益		
固定資産売却益	1,225	-
投資有価証券売却益	97,731	9,897
助成金収入	2,828,793	95,267
受取補償金	-	131,019
保険解約益	6,916	57,428
その他	307	1,095
特別利益合計	2,934,974	294,708
特別損失		
固定資産除却損	8,963	46,152
減損損失	5,903	6,588
新型コロナウイルス感染症による損失	577,470	518,913
その他	14,445	4,732
特別損失合計	606,782	576,386
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,088,499	△323,575
法人税等	278,604	194,638
四半期純利益又は四半期純損失(△)	809,894	△518,214
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△934	△15,500
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	810,829	△502,713

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	809,894	△518,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△119,797	△1,425
為替換算調整勘定	12,419	14,211
退職給付に係る調整額	825	262
持分法適用会社に対する持分相当額	1,892	6,642
その他の包括利益合計	△104,659	19,689
四半期包括利益	705,235	△498,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	701,939	△489,166
非支配株主に係る四半期包括利益	3,295	△9,358

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2022年6月28日開催の定時株主総会決議により、会社法第447条第1項の規定に基づき、2022年8月31日付で減資等の効力が発生しており、資本金の額を5,738,236千円減少させ、その他資本剰余金へ振り替えております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される 財	11,334,569	773,665	3,782,676	—	137,952	16,028,863	1,413,506	17,442,370	—	17,442,370
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	—	—	134,092	134,092	—	134,092	—	134,092
顧客との契約から生 じる収益	11,334,569	773,665	3,782,676	—	272,045	16,162,956	1,413,506	17,576,463	—	17,576,463
その他の収益	—	—	—	517,771	—	517,771	—	517,771	—	517,771
外部顧客に対する 売上高	11,334,569	773,665	3,782,676	517,771	272,045	16,680,728	1,413,506	18,094,235	—	18,094,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,800	30,435	—	21,081	55,317	405,600	460,918	△460,918	—
計	11,334,569	777,466	3,813,112	517,771	293,126	16,736,046	1,819,107	18,555,153	△460,918	18,094,235
セグメント利益又は 損失(△)	△1,146,233	△243,042	448,833	212,521	△47,150	△775,072	△65,954	△841,026	△405,756	△1,246,783

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業、米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△405,756千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される 財	14,503,174	972,336	4,559,467	—	158,396	20,193,375	1,905,449	22,098,824	—	22,098,824
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	—	—	138,711	138,711	—	138,711	—	138,711
顧客との契約から生 じる収益	14,503,174	972,336	4,559,467	—	297,108	20,332,087	1,905,449	22,237,536	—	22,237,536
その他の収益	—	—	—	518,574	—	518,574	—	518,574	—	518,574
外部顧客に対する 売上高	14,503,174	972,336	4,559,467	518,574	297,108	20,850,661	1,905,449	22,756,110	—	22,756,110
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13,152	27,415	—	22,474	63,042	468,174	531,216	△531,216	—
計	14,503,174	985,489	4,586,882	518,574	319,583	20,913,703	2,373,623	23,287,327	△531,216	22,756,110
セグメント利益又は 損失(△)	△51,790	△206,112	467,874	225,386	△35,658	399,700	△10,911	388,788	△377,677	11,110

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業、米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△377,677千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。